



# SMILE

第16号  
2015.8月 発行

## 「けがをしたときの正しい応急処置」

形成外科

小川 令



越谷誠和病院の形成外科では、切ったりやけどをしたりしたときの傷、また糖尿病などでなかなか治らなくなってしまった傷を専門的に治療しています。夏本番ですが、小さいお子さんがけがをした、転んだ、バーベキューでやけどした、蚊に刺された、海でクラゲにさされた、といったことがあると思います。そこで、このようなけがをしたときの正しい応急処置を知って頂きたいと思います。

包丁やナイフ、ガラスなどで切った切り傷、転んでできた擦り傷などは水道水でよく洗ってください。多少出血しても、泥や砂をしっかりと洗い流し、清潔にすることが肝心です。あまりに出血するようならガーゼなどで押えて病院へ行ってください。輪ゴムで指を縛るようなことはしてはいけません。多少の出血では命にかかわることはありませんので、冷静に対処していただきたいと思います。よほど深い傷でない限り、傷口を押さえれば、出血は確実に止まりますし、圧迫して10分もすれば止まることがほとんどです。大人の場合、献血で400mlくらいの採血をしても、まず問題ないことを考えて頂ければと思います。

次にやけどですが、お湯によるやけどは浅いやけどで済むことが多いですが、火や油によるやけどは深くなる人が多いので要注意です。とにかく15分以上冷やすことが肝心です。水ぶくれができていても破かないように冷やしましょう。水道水をかけ続けても良いですが、水ぶくれが出来ているときは破けてしまうこともありますので、ビニール袋に氷と少量の水を入れ、それをタオルに包んで冷やすのが理想です。保冷剤をタオルに包んで当てても大丈夫です。

蚊に刺された場合は、とにかくかかないことが大切です。アレルギー反応が強くなってしまいます。刺された部分を水や氷で冷やすと、アレルギー反応が低くなり、痒みを鎮静することができます。

海水浴でクラゲに刺された場合ですが、クラゲの毒は、種類によって対処法は違いますが、どのクラゲの場合でも共通しているのが、クラゲを素手で触らない、患部を擦らないことが大切です。この場合も水でよく洗うことが大切ですが、クラゲの場合は、海水で洗わねばなりません。浸透圧の関係で体についているクラゲの細胞からさらに毒が出る可能性があるからです。

このように、傷の処置に「水」はとても大切ということがわかっていただけたかと思います。けがをしやすい夏ですが、慌てずに処置するために、正しい知識を持つておくことが大切です。



形成外科外来		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~10:30		小川			9:00~12:00	
	10:30~12:30		松本			江浦	
午後	小川					15:00~17:00	
	松本					江浦	

※当院の形成外科は日本医科大学付属病院の医師です。

### <小川 令Dr 略歴>

- 1999年 日本医科大学卒業
- 2005年 同大学大学院修了
- 2005年 会津中央病院形成外科部長
- 2006年 日本医科大学形成外科講師
- 2007年 米国ハーバード大学形成外科研究員
- 2009年 日本医科大学形成外科准教授
- 2013年-現在 東京大学非常勤講師(兼任)
- 2015年-現在 日本医科大学形成外科主任教授

### 病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

### 基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。



# 高額療養費制度が変わりました！！



高額療養費の自己負担限度額について、負担能力に応じた負担を求める観点から、平成27年1月診療分より、70歳未満の所得区分が3区分から5区分に細分化されました。

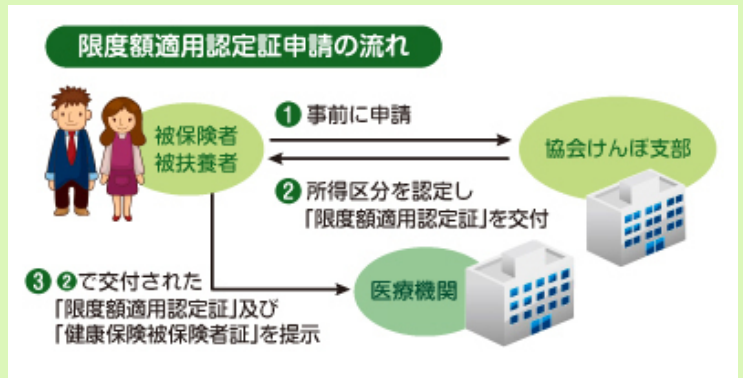
高額療養費については、窓口で支払った自己負担金額が自分の標準報酬に応じて決められた自己負担限度額を超える額については、後日返金される仕組みになっています。

ただし、返金の実施されるまでの期間は3か月以上かかる場合もあります。

それを回避する為に、限度額認定証という制度があります。事前に保険者に支給申請し、限度額認定証を入院時に提示することにより、「自己負担限度額を超える金額は請求されない」という大変便利な制度です。

もし、手続きが間に合わず入院時まで限度額認定証を提示できなかった場合は、入院した月の月末までに提示することが必要です。間に合わなかった場合は、一度支払っていただき、還付手続きをしていただくことになります。

医療費のうち、食事代や保険適用外負担分(個室料金・病衣代・オムツ代等)は、高額療養費制度の対象となりませんのでご注意ください。



➤ご不明な点は、1階受付入院窓口まで

## ひ ざ の 痛 み 教 室

リハビリテーション科では、昨年度より「ひざの痛み教室」を開催しています。今回は第3回として平成27年7月7日に開催し、13名の方に御参加いただきました。皆様からは好評をいただき、3回目を迎えた今回、「当初よりは情報を皆様に上手く伝えることができたかな」と、自負いたしております。今後更に有益な運動教室になる様、皆様のご意見を参考として準備をすすめます。

また、これからも皆様に多くの情報を提供できる場を持ち続けたいと考えており、そのひとつとして「院外での教室開催」の検討をすすめます。

次回は平成27年9月頃を予定しています。その際は、皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。これからも当院リハビリテーション科をよろしくお願い致します。

## 部 署 Vo.1

### 紹 介 ～地域連携・医療福祉相談室～

相談室をご存知でしょうか？

当部署では、7名の職員がおり、連携業務と相談業務、大きく分けて二つの役割を担っています。

当院では、地域全体で皆さまの健康をまもるために、他の医療福祉施設等と連絡を取り合い、協力しています。連携業務では、その仕組みが円滑に作用するよう窓口業務や調整を行っています。

相談業務は、病気や怪我に伴って発生する入退院に関する様々なことや、経済的・心理的不安などのご相談にのり、問題が解決するよう、調整をし、安心して治療に専念出来るよう支援しています。

患者様やご家族様と共に考え、他の医療スタッフと協力し、業務をおこなっています。大変だと感じることもありますが、治療を終え安心して退院される方々の笑顔を見ると相談員でよかったと思います。

お困りのことがあれば、是非ご相談ください。

瀬野尾 香穂



## 診療統計 平成27年4月～6月(月平均)

○ 外来延べ患者数	16,695名(5,565名)
● 入院延べ患者数	16,211名(5,404名)
○ 一日平均外来患者数	226名

● 救急搬入数	471名(157名)
○ 紹介患者数	542名(181名)
● 手術件数	401件(134件)
○ 内視鏡件数	286件(95件)